

未利用県有財産の有効活用等に関するサウンディング型市場調査の結果について

1 調査の目的

未利用県有財産の有効活用等を検討するにあたり、様々な利活用の可能性について、民間事業者の皆様から広く意見、提案を募集し、対話を通じて対象財産の市場性や活用アイデア等を把握することを目的として、サウンディング型市場調査を実施するもの。

2 調査対象財産

- ① 元県営住宅鈴川団地（山形市山家町一丁目3-40）
- ② 元山形第10・11号職員アパート（山形市飯田西三丁目3-13、4-7）

3 調査のスケジュール

実施要領の公表	令和8年2月20日（金）
提案書の受付期間	令和8年2月24日（火）～3月19日（木）
サウンディング（対話）の実施	令和8年3月27日（金）

4 調査への参加者

- 1 事業者

5 調査結果

対象財産ごとに対話を行い、下記のとおり、御意見・御提案をいただきました。

項目	①元県営住宅鈴川団地	②元山形第10・11号職員アパート
事業の内容	公園、公共スペースとして整備	・移住定住促進住宅の整備 ・サービス付き高齢者住宅、障がい者グループホーム等の福祉施設整備
事業の手法	関係機関と協議のうえ事業手法を検討	官民連携により、既存建物を解体のうえ対象となる建物を整備
期待される効果	地域住民の交流促進	・子育て世帯等の移住、定住の促進 ・高齢者が地元で生活を続けられる体制の整備、福祉基盤の強化 ・安心して暮らせる住環境を確保し、医療、介護の連携による自立支援

6 今後の対応

本調査結果を踏まえ、関係機関と連携し、未利用県有財産の有効活用等について検討を進めてまいります。